

自動運転走行のための 2期区間バス専用車線整備工事 における説明会

2023年11月22日(水),25日(土)

自動運転バス走行のための車線整備 全体概要



<全体の概要>

和光市駅から市北部のSGリアルティ和光までの区間を循環させて走行する計画で、将来的には、市内各所で走行させることを目指します。安全に走行するために道路整備を1期と2期に分けて行い、試験走行した後に本格運用を始める予定です。

- ・ 1期（整備済）と2期に分けて必要な整備と実証走行を実施
- ・ 令和5年度は2期区間の整備を実施

自動運転バス走行のための車線整備 整備箇所



<整備の箇所>

1期区間（整備済）の前後約210mと外環側道の内回り側（市道529号線）の延長約620mの既存の道路内で実施（用地の買収はありません）

また、県道区間については埼玉県が整備を行います。

自動運転バス走行のための車線整備 整備工程

<和光市整備区間>

2期区間整備は撤去工事と3つの工区に分けて整備工事を実施します。

令和5年12月から先行して撤去工事を行い、支障となる防音壁や構造物、標示看板及び植樹帯の撤去に着手します。撤去工事の進捗状況を踏まえて順次整備工事（1工区、2工区、3工区）を行います。

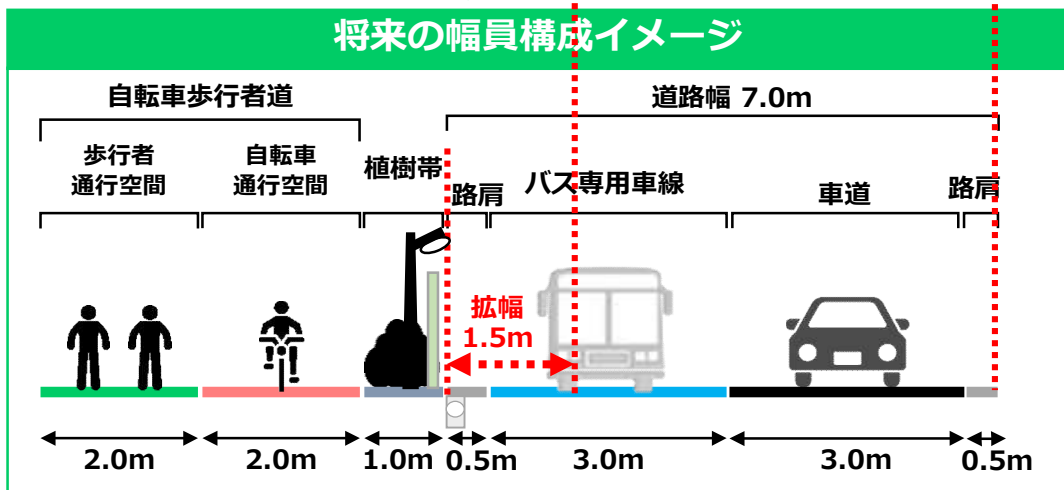
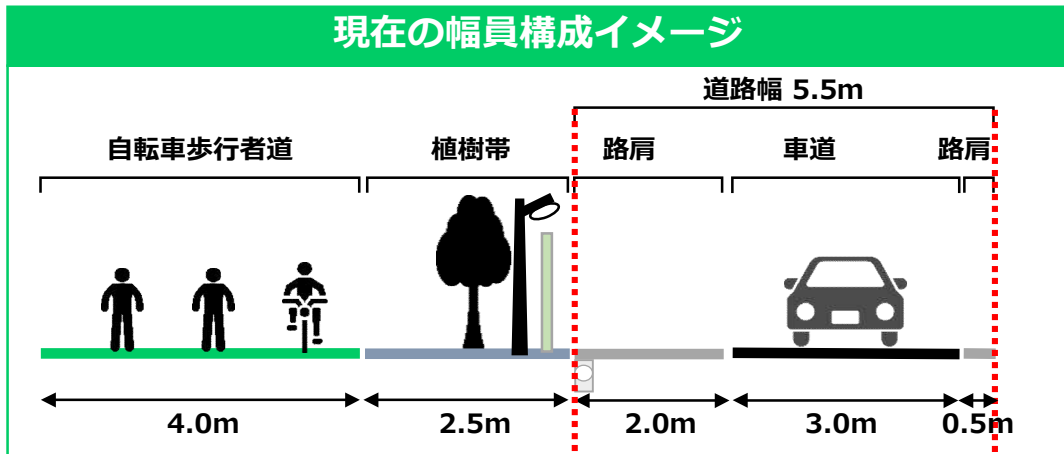
<埼玉県整備区間>

県道区間については埼玉県が整備を行います。

埼玉県整備区間も先行して撤去工事を行い、その後整備工事を行います。

- ・全工事区間において交通誘導員を適切に配置して車両と歩行者自転車の安全な通行に配慮します。
- ・通学路の区間は朝の通学時間帯に工事を行いません。

自動運転バス走行のための車線整備 整備内容



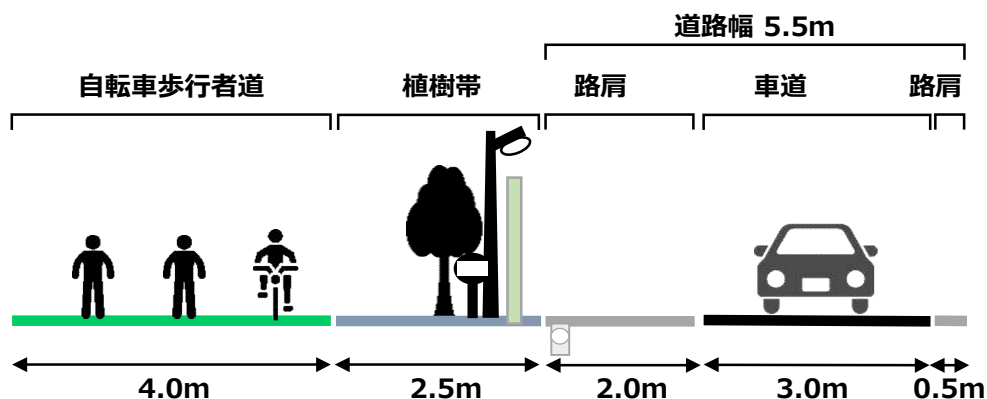
<整備の内容>

既存の『路肩』と『植樹帯』を活用し
自動運転バスが走行できる車線を整備します。

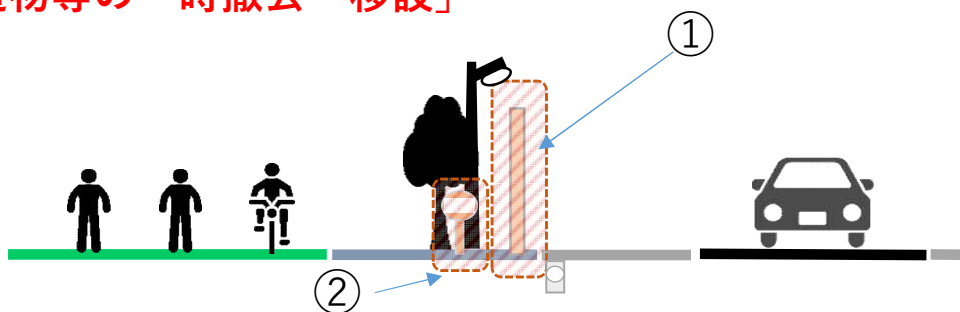
- ・道路幅『1.5m』を拡幅して車線を整備
- ・植樹帯の高木等を中低木に更新
- ・自転車歩行者道の歩行者と自転車の通行空間を明確化

自動運転バス走行のための車線整備 整備手順①

整備前（現状）



ステップ 1 「構造物等の一時撤去・移設」



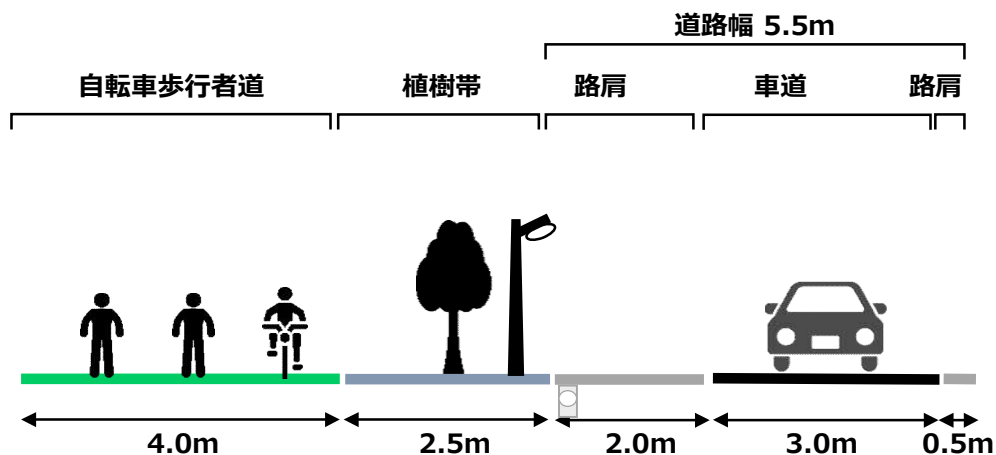
<ステップ 1 の内容>

防音壁などの構造物や標識看板等の一時撤去や移設を行います。

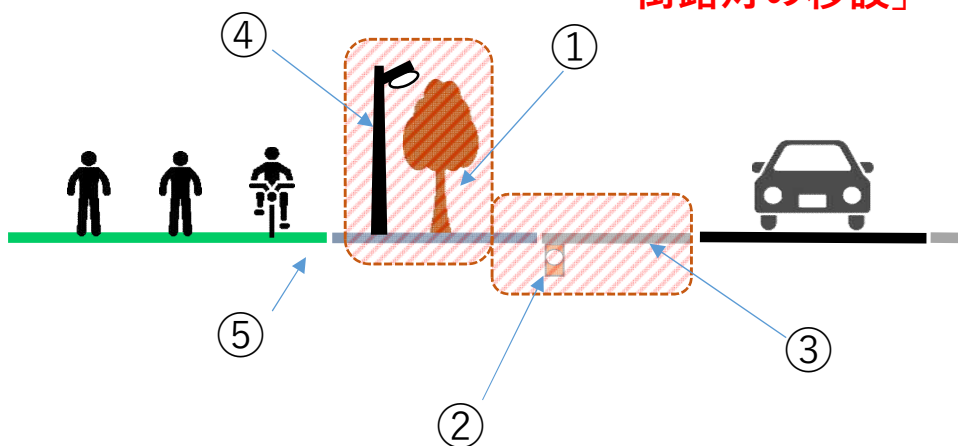
- ①防音壁の一時撤去を実施
- ②標識看板等は一時撤去又は移設を実施

自動運転バス走行のための車線整備 整備手順②

ステップ 1



ステップ 2 「支障となる樹木や舗装・排水構造物等の撤去と
街路灯の移設」



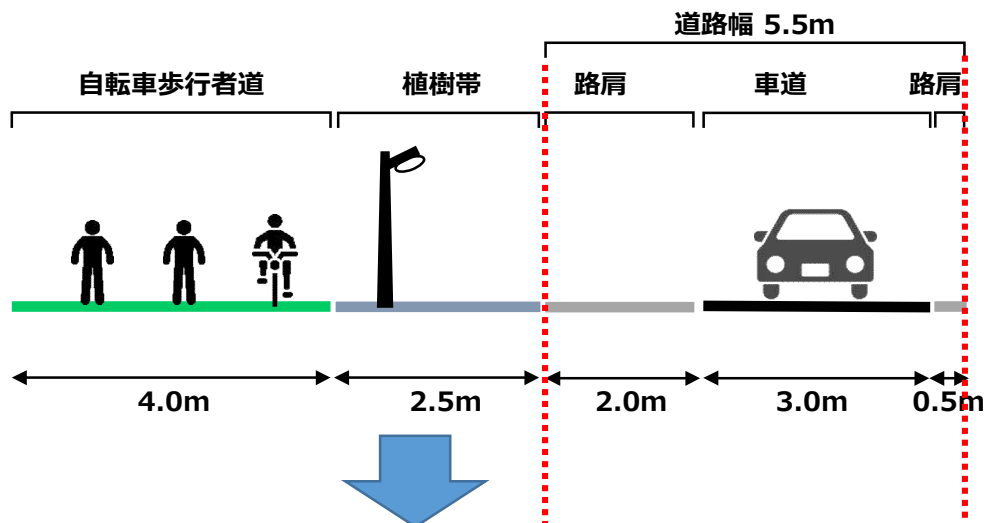
＜ステップ 2 の内容＞

支障となる高木や低木等や排水構造物を含む舗装等の撤去、街路灯の移設を行います。

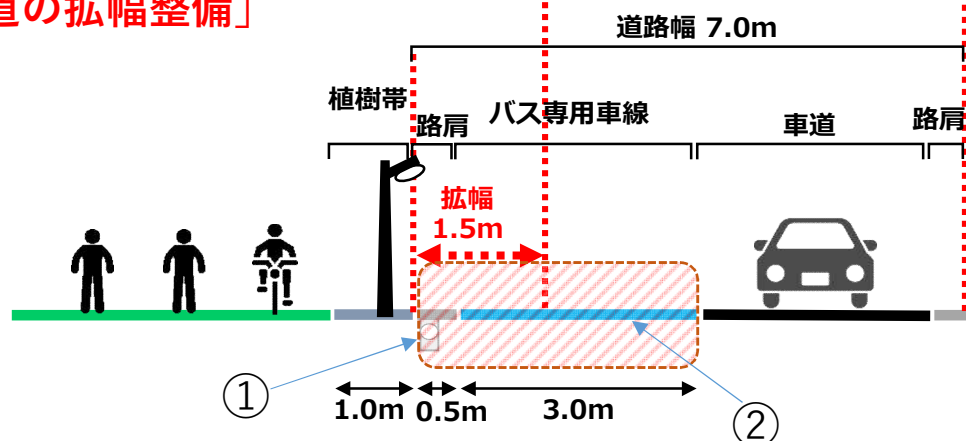
- ①樹木の伐採及び伐根を実施
- ②排水設備等の道路構造物を撤去
- ③車道舗装の一部を撤去
- ④街路灯は移設（LED灯具に変更）
- ⑤植樹帯がない区間は歩道の一部を撤去

自動運転バス走行のための車線整備 整備手順③

ステップ 2



ステップ 3 「車道の拡幅整備」



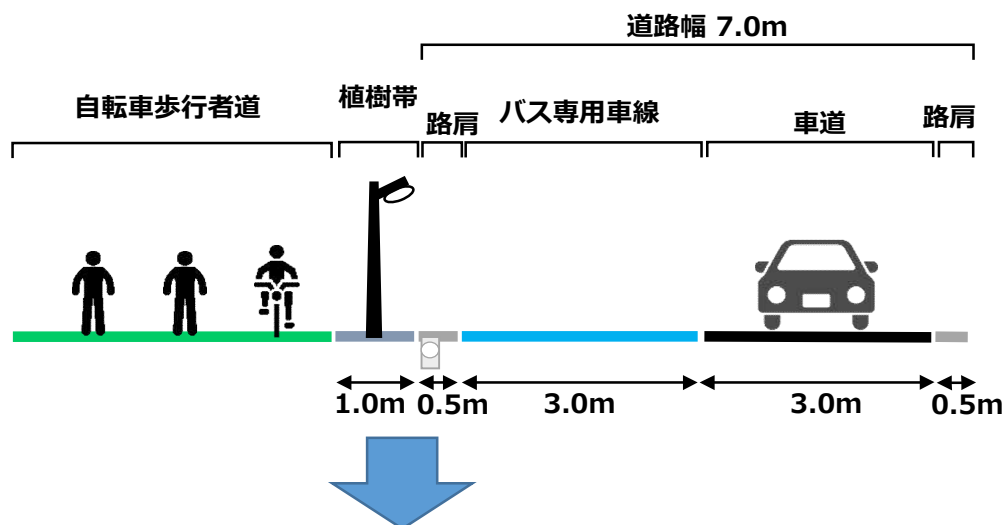
<ステップ3の内容>

車道拡幅として新しい車線の整備を行います。

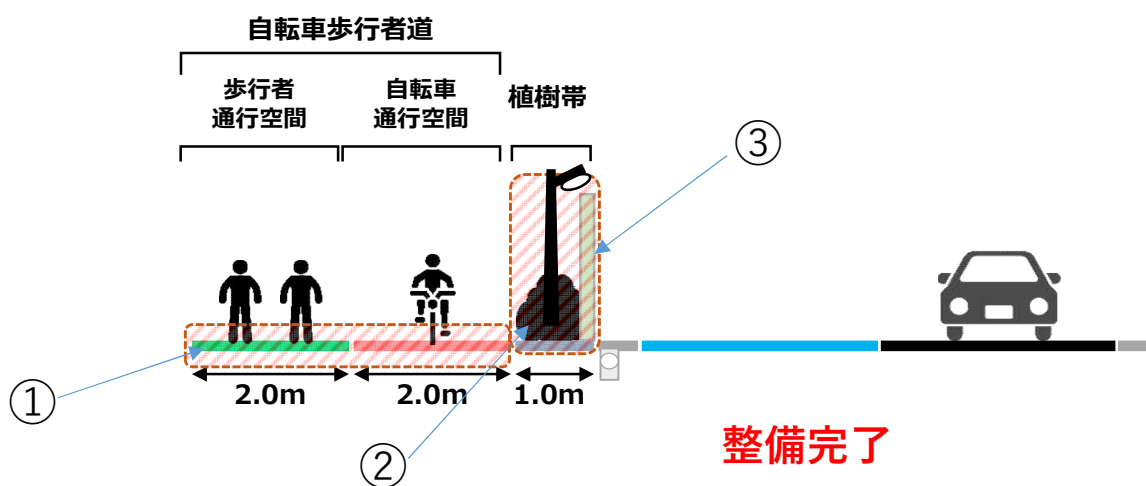
- ①排水構造物等を整備
- ②路盤を含めた車道舗装を整備

自動運転バス走行のための車線整備 整備手順④

ステップ 3



ステップ 4 「歩行者・自転車空間の整備と植樹帯の整備」



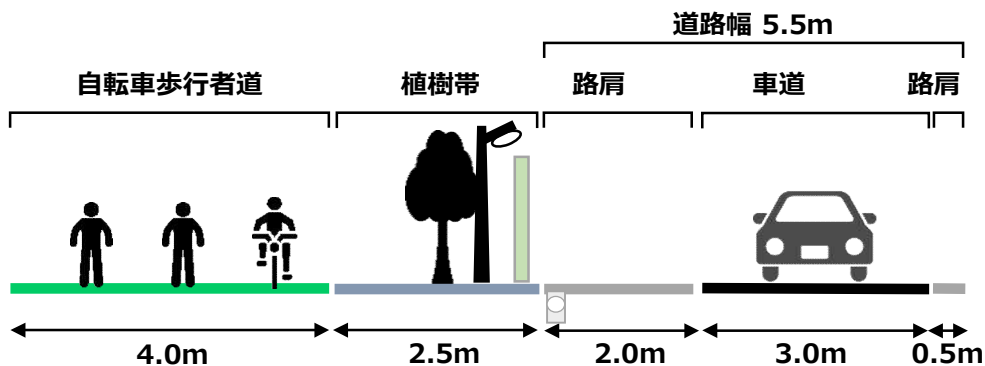
<ステップ 4 の内容>

自転車歩行者道の歩行者と自転車の通行空間の明確化と植樹帯の整備を行います。

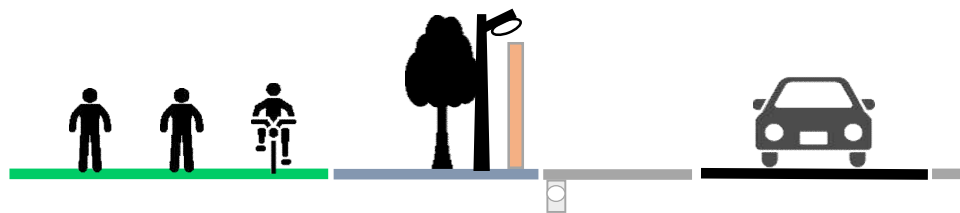
- ①歩行者空間と自転車空間の通行区分を区画線により明確化する。
- ②植樹帯に中低木を植樹
- ③一時撤去した防音壁等を復旧
(※歩道の埋設物の状況により復旧できない箇所が一部あります。)

自動運転バス走行のための車線整備 整備手順

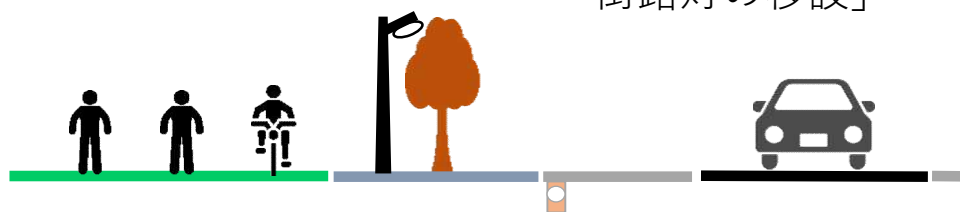
整備前（現状）



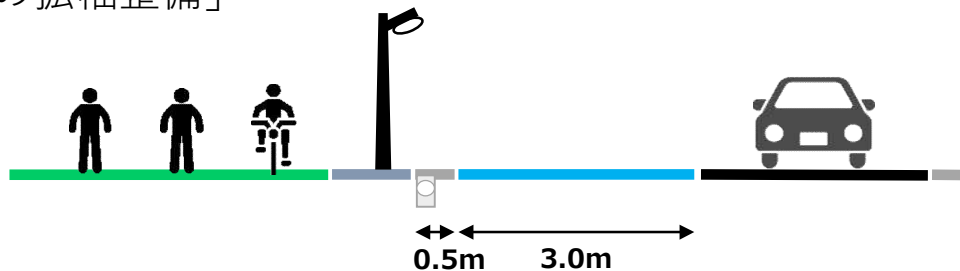
ステップ 1 「構造物等の一時撤去・移設」



ステップ 2 「支障となる樹木や舗装・排水構造物等の撤去と街路灯の移設」



ステップ 3 「車道の拡幅整備」



ステップ 4 「歩行者・自転車空間の整備、植樹帯の整備」

整備完了

